

# 東光原

NewsLetter



附属図書館公認キャラクター「くまぼん」

## 受賞作

第九回  
東光原  
文学賞

## 決定!

### 大賞

「雪の下に咲く」黒瀬優(工学部4年)

### 優秀賞

「アジサイの日」木乃一孝(法学部3年)

「若狭と鉄炮」野良犬(文学部4年)

「臨時運行レトロレイン」藤崎银杏(教育学研究科修士1年)

「縁者欠格」三杉望海(文学部4年)



特集 東光原文学賞受賞者インタビュー 2p→

## 特集 第9回東光原文学賞受賞者インタビュー

- Q1. 受賞作へ込めた思いをお願いします。
- Q2. 小説を書いている過程で楽しかったこと、工夫したこと、苦労したことなど教えてください。
- Q3. これから東光原文学賞に応募しようかなと思っている人へアドバイスをお願いします。
- Q4. その他、伝えたい事などありましたらお願いします。

### 黒瀬 優さん（大賞「雪の下に咲く」）

A1. 込めた思いといいますか、とりあえずは主人公の感情を理解してほしいと願いながら書きました。私はこの作品程心理描写を丁寧にしたのは初めてです。忙しさもあり、途中で誰かに読んでもらう事も出来ず、ここまで卑屈で挙動不審な主人公に感情移入してもらえるか、ずっと心配でした。

A2. 楽しかったのは、登場人物の過去を書いている時でした。物語と直接関係の無い無駄話を書くのは好きです。逆に完成して書式を合わせると文字数がオーバーしていて、二割も削らなければいけなくなった時は本当に苦労しました。勿論、ほぼ遊びで書いた過去話は全削除ですが、結果としては主人公の心情が表現しやすくなったので、書いて良かったかなとは思っています。

A3. 自分らしさというのは必要だと思います。奇抜さではなく、他とは違う何かです。私が書いた物も設定自体はよくある話でした。ですが、私らしい作品にはなっていると思います。小説はストーリーだけが重要なわけではありません。主人公の性格や置かれている状況、時代や文体を変えるだけでも小説に大きく変化が出ると思いますよ。

A4. 主人公の女の子は父の事を許せず、彼と同じ瞳の色を隠すためにカラコンを入れていました。物語の最後ではそれを外すのが王道だと思いますが、敢えて、どうしたかの描写は省きました。今回の話と父を許すかは別問題だったので。どう評価されるかは分かりませんが、私はうやむやにする展開の方が好きです。一応、いい雰囲気では終わったつもりですが、心の奥では未だに父の事を恨んでいる主人公というのも人間らしくて面白いと思います。

### 藤崎 銀杏さん（優秀賞「臨時運行レトロトレイン」）

A1. 毎日の生活の中で感じることを書きました。とくに、現実の電車の中の状況が「こうなったらいいのにな」という思いを表現してみました。読者が大学生の皆さんだということを想定して、読んでくれた人が共感し、行動してくれるといいな、という思いを込めています。まずは私が、主人公が取った行動を実践しています。

A2. 通学電車の中で片道30分弱を使ってスマホにフリック入力してほとんど書きました。リアルさを出すために、出てくる地名は実在のものにしました。私は大学院生ですがアラフィフなので、30歳も年の離れた人たちが読んで受け入れてもらえるか自信がなかったので、途中で県外の大学にいる文学部の娘とメールで何度かやりとりしてアドバイスをもらいました。

A3. 今回、生まれて初めて小説というものを書いてみました。普段、小説を読むこともありません。しかも、書こうと思い立ったのが締め切りの1か月前。こんな人でもチャレンジしてみたらそれなりの形になったのです。音楽も、映像も、映画も、ゲームも、漫画も、小説も、お金さえ払えば、または払わずにでも手軽に消費できますが、たまには作り手になるのもいいものです。

A4. 文章を書くというのは時間をかけて自分の頭の中の世界、あるいはまだ頭の中にもない世界を形にしていって、そんな作業だと思います。さらにそこに込めた思いを読み手に受け止めてもらえる嬉しいですね。そして、ひょっとしたら、読み手に影響を与えることもあるかもしれない、なんて楽しいことを想像しています。

3月末に「東光原文学賞作品集」刊行！ 後日ホームページでも公開予定

### 木乃 一孝さん（優秀賞「アジサイの日」）

A1. 普段僕が感じたり考えたりしていることに、ストーリーを加えて、何とか物語にした、という感じなので「～を伝えたい!」「～を感じてくれ!」というような、いわゆる「アツい」思いはありませんでした。ただ、読んでくださる方々に、父親というある種居て当たり前のような存在に対して、どんなことでもいいので、思いを馳せてもらえたら、というのは考えていたかもしれません。

A2. 登場人物の気持ちを考えながら文章を書いたり、言葉を選んだりするのは楽しかったですね。ただ、それを考え過ぎてドツポにはまり、ストーリーが進まなくなることも度々ありました。これがなかなか大変で、下手に辻褃を合わせようとすると、どんどん登場人物の気持ちとストーリーに矛盾が生じて…。小説を書くことの難しさを痛感しました。

A3. 「人は誰でも一篇の小説は書けるものだ」という言葉は皆さん聞いたことがあるのではないのでしょうか。僕は今回、まさにその通りだと思いましたし、この「東光原文学賞」はその「一篇」を書く絶好の機会だと思います。皆さんの頭の中にある素敵な考えや、アイデアが日の目を浴びることなく消えてしまうのはもったいない。案外、人に見てもらえる、知ってもらえるというのは、気持ちがいいものですよ。少なくとも僕は、応募してよかったと、心から思っています。

### 野良犬さん（優秀賞「若狭と鉄砲」）

A1. 私は昔から歴史系の寓話・小説が好きでよく読んでいたので、私の小説を読む人たちにも歴史小説の面白みが伝わればいいなという思いで書きました。歴史小説だからといって堅いイメージを持たず、気軽に娯楽小説として読んでいただければと思います。

A2. 歴史という題材を扱っている以上、史実とストーリーをあまり乖離させるわけにもいかないのですが、そのあたりの兼ね合いを考えるのが楽しくもあり苦労した点でもあります。また参考となる歴史資料を探す手間もありました。数多くの資料をウェブ上で公開している国立国会図書館様には感謝の念に堪えません。

A3. 私自身、文学賞に応募する機会があまりなかったので、色物の歴史小説で応募してよいのだろうかと考えたりもしましたが、結局は自分が楽しく書いて、読める作品であることが大事だと思います。上からアドバイスできるほどの身分ではないですが、自分の読みたい、好きな作品を出すのが一番ではないでしょうか。

A4. 初めて応募した文学賞で優秀賞を頂けるとは思わず大変驚きましたが、自分の小説が評価されるというのは嬉しいものだ実感しました。東光原文学賞だけにとどまらず、他の様々な賞にも挑戦してみたいと思います。またネット小説にも手を出しているので、もしも何かの機会に私の小説を目にすることがあれば応援よろしくお願ひします。

### 三杉 望海さん（優秀賞「縁者欠格」）

A1. お互い育った環境は真逆ながら、実はとてもよく似ている姉弟の話です。互いに距離感が分からず、思いを口に出さない故になかなか気持ちが通じ合いません。家族を知らない二人が家族になろうとしたほんの短いひとときを描ければ……と書いて書きました。

A2. 構成や人称はかなり迷いました。二人の心の動きを描きたかったのですが、テンポ調節が大変でした。盛り込みたいエピソードが多すぎました……。最後に弟が本当は姉をどう思っていたかで全て繋がるようにしたつもりです。

A3. 最初から思ったように、かつ満足のいくような作品を書くのは難しいです。断片的でも思いついたものを好きな時に、メモ程度にでも書いておくといいと思います。あとは完成したら友達など、他の人に読んでもらうことをおすすめします。

A4. この度は受賞できて光栄です。ありがとうございました。自分の作品をたくさんの方々に読んでいただける機会を頂けて嬉しいです。今後も精進いたします。

# 熊本地震ライブラリを公開

## 館内展示



## インターネット版

Kumamoto University  
熊本大学附属図書館

### 熊本地震ライブラリ

「平成28年熊本地震」により被災された皆様にご覧いただきたいと、1日も早い復興を心より祈り申し上げます。  
熊本大学附属図書館では、平成28年4月14日(木)以降に発生した一連の「平成28年熊本地震」に関連した各種資料を収集、保存し、公開することで、資料をご提供いただいた方と、持参する必要がある方々との橋渡しができればと考えています。  
本ライブラリは、この趣旨にご賛同いただいた皆さまからご提供の「情報・資料」により作成されております。  
平成28年7月14日付にて、熊本大学附属図書館ホームページで「平成28年熊本地震」に関する資料のご提供について(お申し込み)を掲載。現在までにお寄せいただきました情報・資料につき、本ライブラリを作成しておりますが、ご覧のとおり、現時点では、非常に限られた内容の提供となっております。  
今後一層の内容の充実を図るためには、皆さまからの情報のご提供が、必要です。  
引き続き、「平成28年熊本地震」に関する情報のご提供を、お願ひ申し上げます。 [「平成28年熊本地震」に関する資料のご提供について\(お申し込み\)](#)

Google カスタム

大学等教育研究の機関

1 大学等教育研究の機関 → 熊本県

<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/local/kjl/index.html>

熊本大学附属図書館では、平成28年熊本地震に関連する資料を収集しています。現在までにお寄せいただきました情報・資料について一部を公開します(公開許諾を得ていない資料を除く)。引き続き皆様からの資料・情報のご提供をお願いします。



## ロビー展示



### 第2回学生選書祭と旅に出たくなる本 開催中 ~3/29

第2回学生選書祭では学生選書員が選んだ新着本を展示中。10月に実施した第1回「学生選書祭」は大変好評でしたが、第2回も前回に負けない面白い本が揃っています!

旅に出たくなる本、集めました! たくさんの『旅』に関係した本を展示中。ちょっと変わった旅行ガイドに、読み物としても面白い旅行記や、ファンタジー冒険ものの小説まで揃えました。学生のみなさんは2~3月に春休みがあります。期間中は読書も旅行も大いに楽しんでくださいね。

## 応援ありがとう!

今年も図書館総合展で受賞!

図書館キャラクター・グランプリ 出展社賞  
Clarivate Analytics 賞を受賞しました。

皆さま応援ありがとうございました♪ くまぽん

